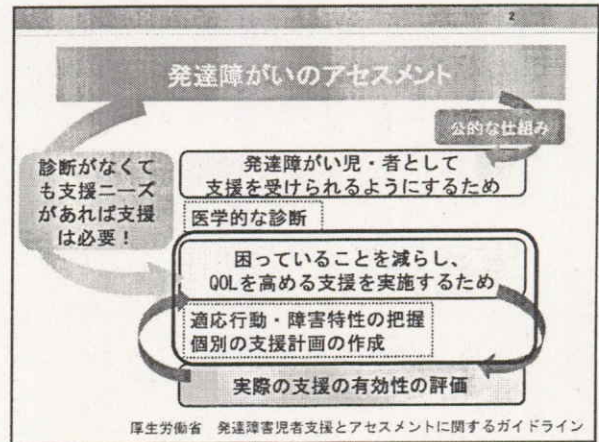


## 子どもの行動の理解と対応 ～臨床心理士の視点から～

はこだて療育・自立支援センター  
村梶 夏希 (臨床心理士)  
杉山 恭子 (臨床心理士)



### アセスメントで大切な視点

発達の遅れだけではなく、  
**発達のでこぼこへの理解・支援も必要**

**発達のでこぼことは？**

- ・ ○○はOKだけど、△△はNG
- ・ できることとできないことの差が激しい
- ・ 独特な物の見方・感じ方・考え方

**でこぼこに合わせた関わり方の工夫**

### 発達のでこぼこへの理解と支援

ちゃんと見て！

よく考えて！

頑張って！

と言われても難しい

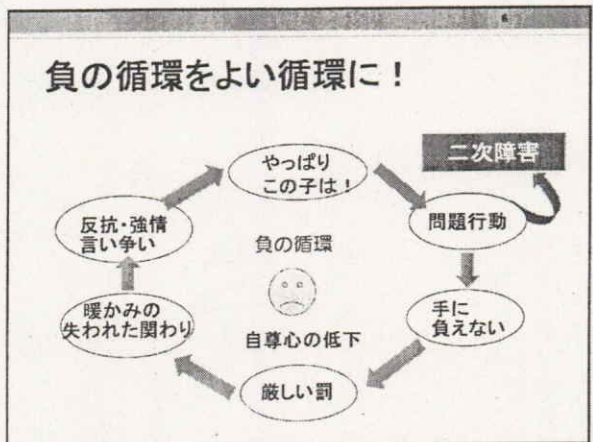
### 発達のでこぼこへの理解と支援

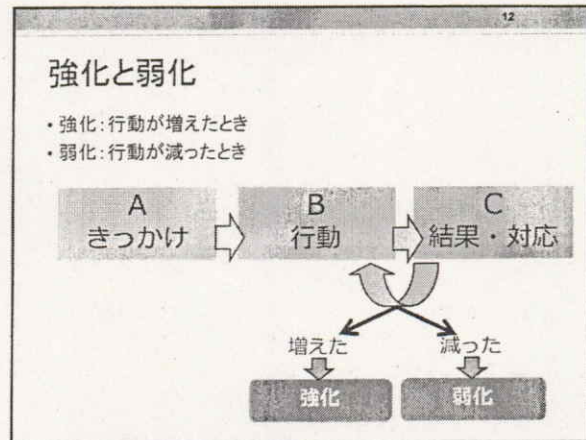
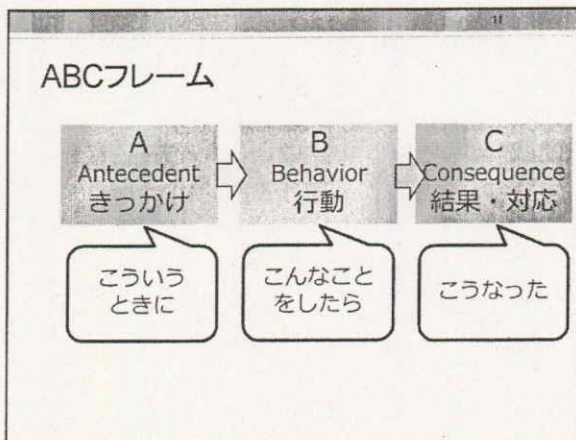
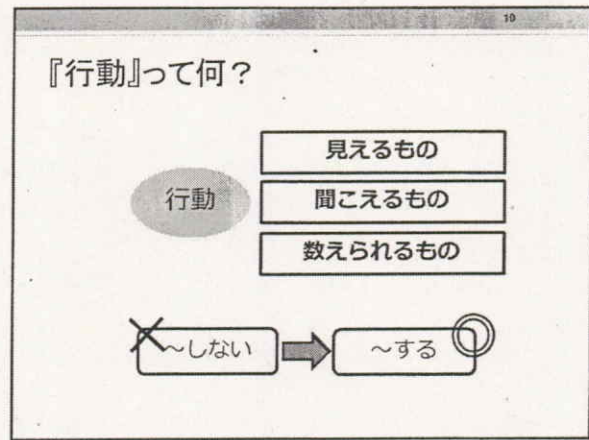
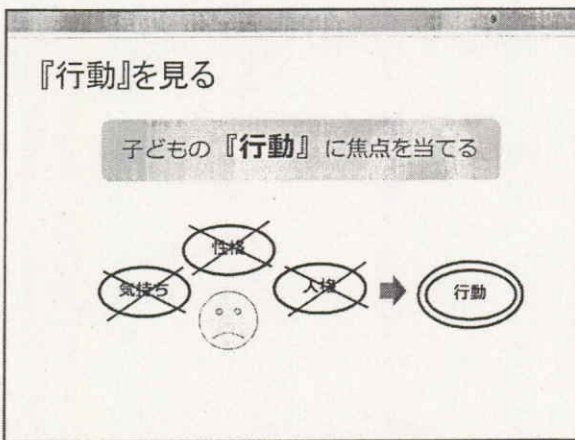
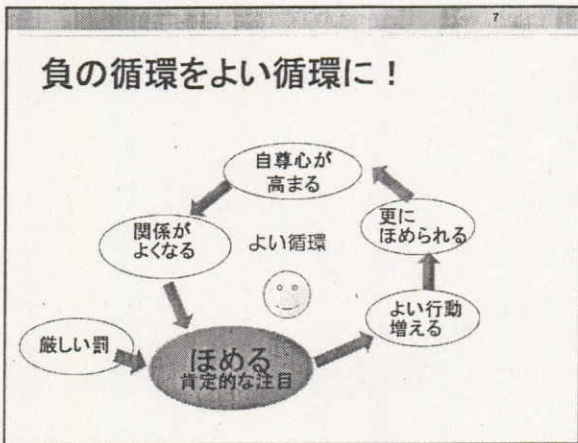
○○に注目してみよう！  
(具体的に示す)

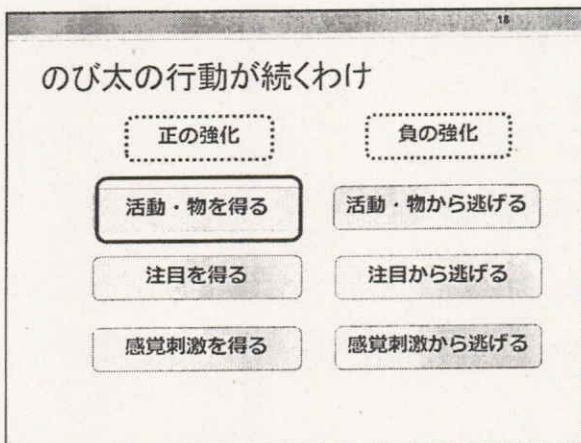
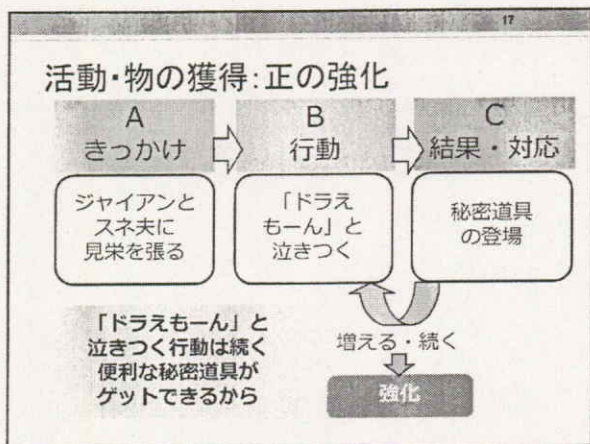
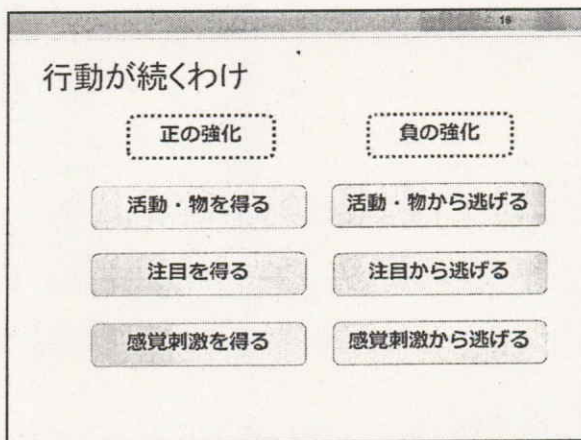
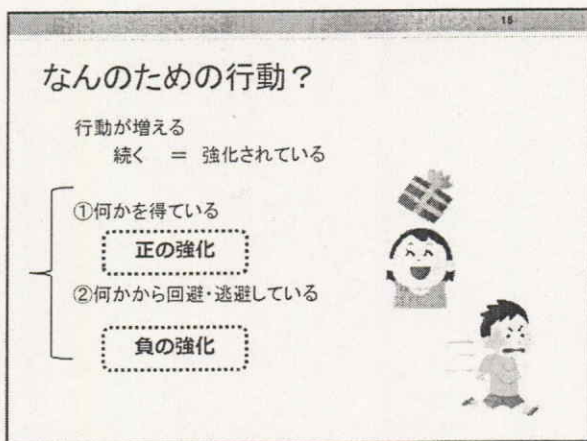
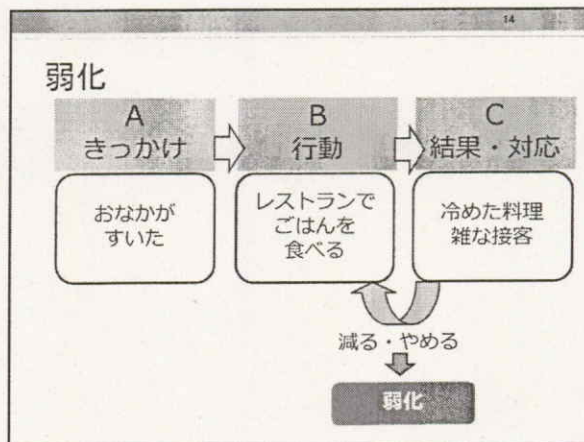
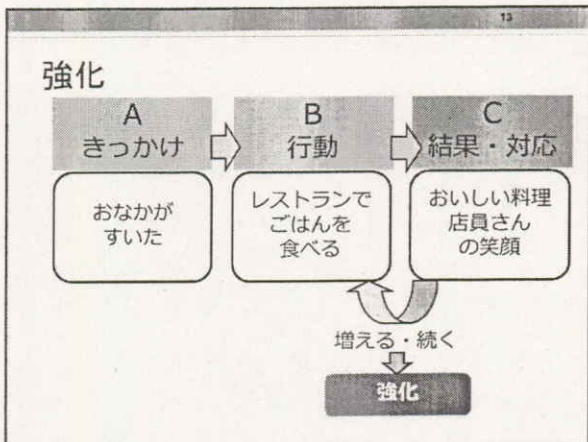
△△をやってみよう！  
(難易度を変える)

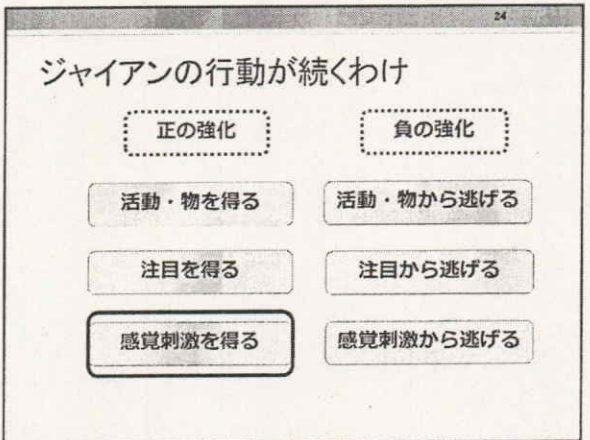
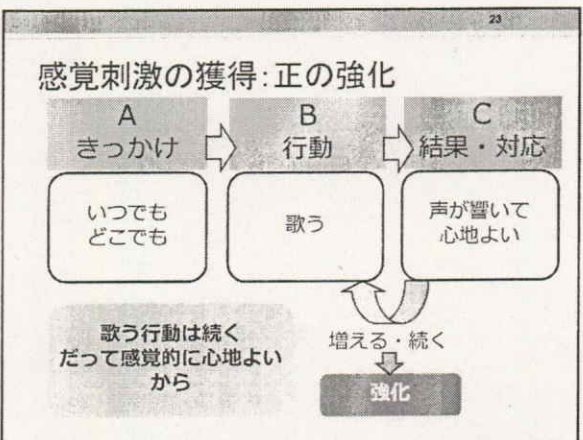
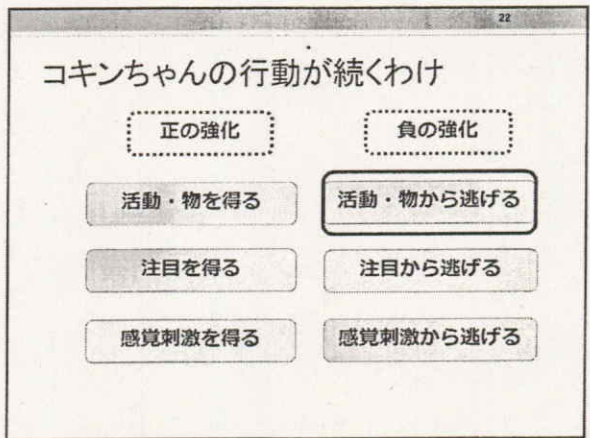
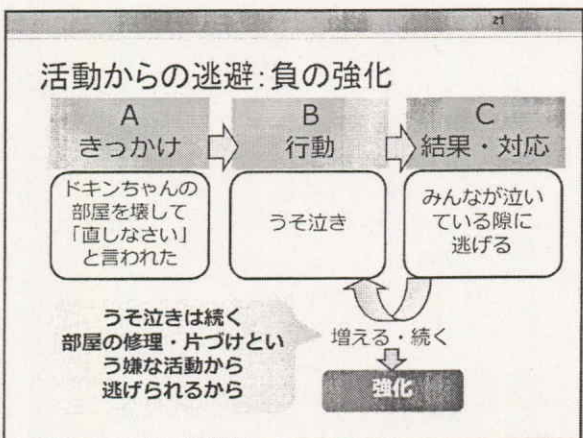
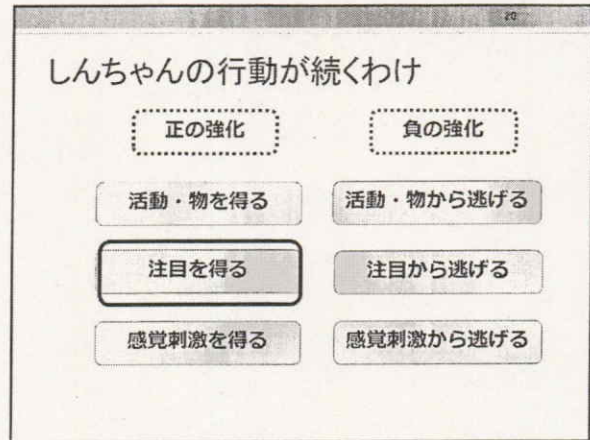
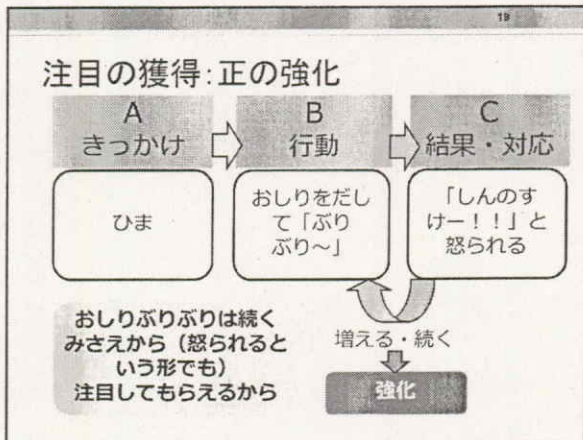
一緒にやってみよう！

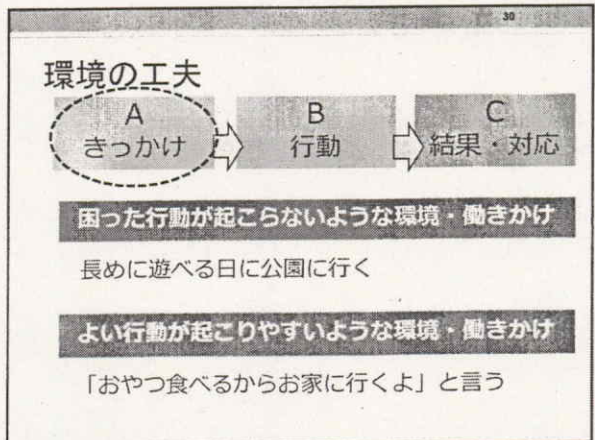
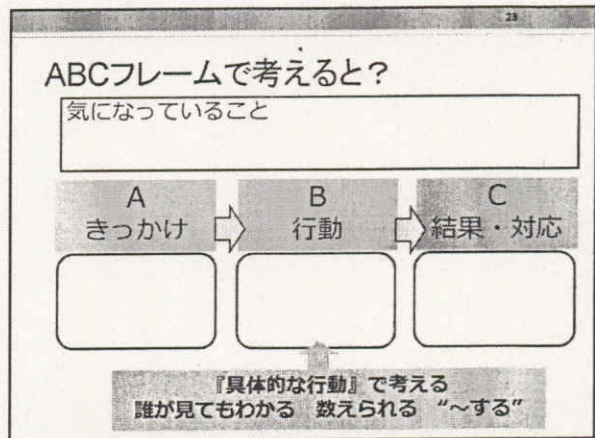
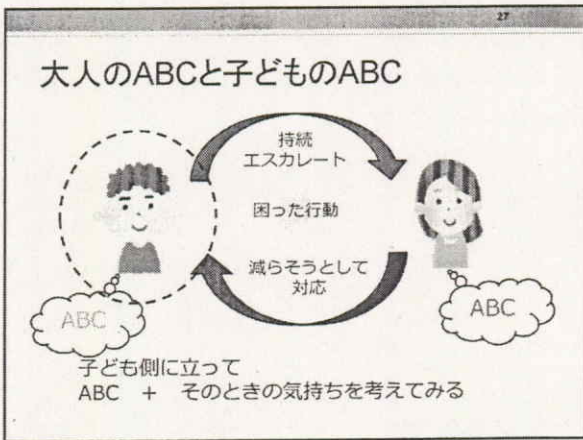
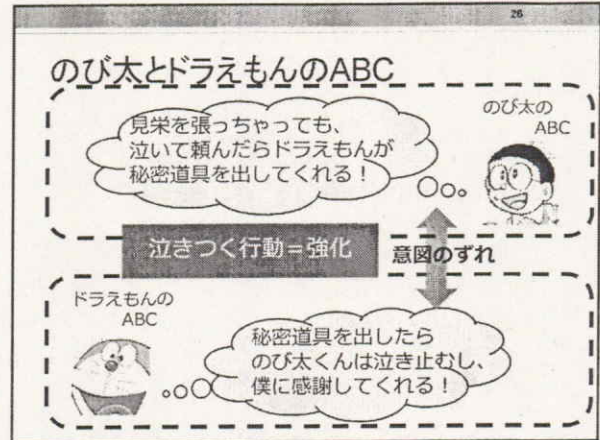
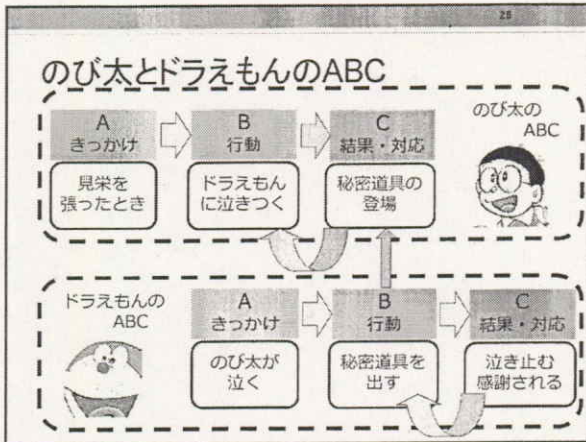
できることが増える！











31

### 代わりにしてほしい『行動』

A きっかけ → B 行動 → C 結果・対応

『具体的な行動』で考える  
誰が見てもわかる 数えられる “～する”

やめさせたい行動 → してほしい行動

好ましくない行動を減らすための  
関わりよりも  
好ましい行動を増やす関わり  
↓  
好ましくない行動の割合が減る

32

### 代わりにしてほしい『行動』

A きっかけ → B 行動 → C 結果・対応

代わりにしてほしい『行動』ってなんだろう？

スムーズに車に乗る

答えは1つではない

「もうちょっと遊びたい」と言う

33

### どうやってほめる？

A きっかけ → B 行動 → C 結果・対応

- 子どもにとって
- 正の強化になるものを
- 好ましい行動の後に

正の強化

- 活動・物を得る
- 注目を得る
- 感覚刺激を得る

34

### 行動理論～ABCフレーム～

状況を変えることで、  
行動が変わることがある

結果を変えることで、  
行動が変わることがある

35

### 2種類の注目

肯定的な注目 ポジティブ	否定的な注目 ネガティブ
ほめる 笑顔を返す ハイタッチ など	叱る 怒鳴る ため息をつく など

どちらの注目も、  
子どもの行動を強め、増やす力をもっている

36

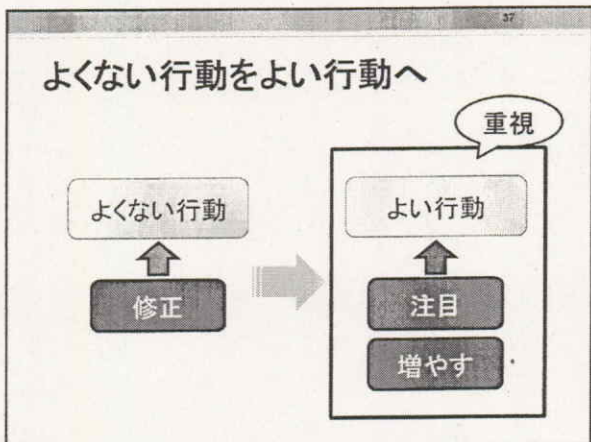
### 交換の法則

肯定的な注目  
ポジティブ → ポジティブな行動

例)「本の整理したんだね、きれいになってる！」  
→まんざらでもない表情で、別の物も整理する

否定的な注目  
ネガティブ → ネガティブな行動

例)「散らかってる！片づけもできないの?!」  
→「うるさいな、別にいいでしょ」と言い返す

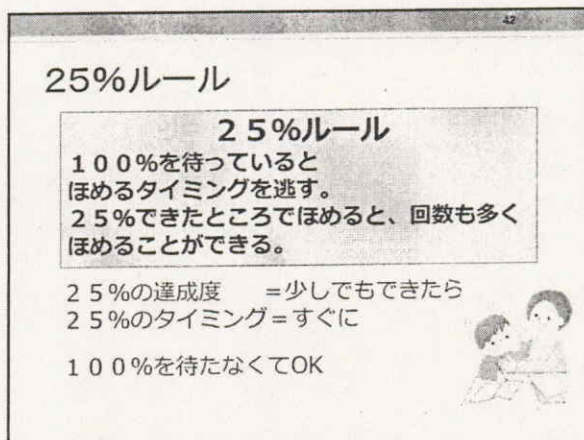
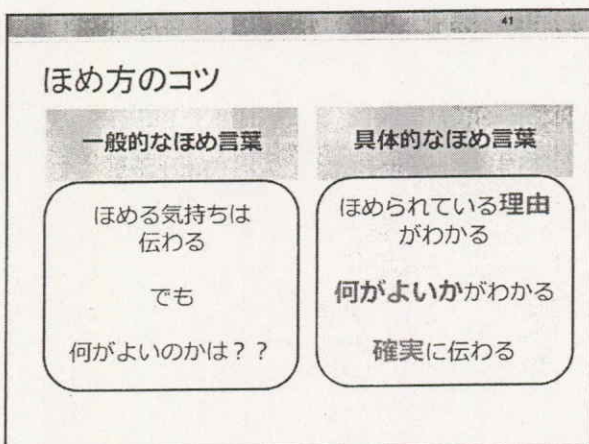


### 行動を3つに分ける

好ましい行動	好ましくない行動	許しがたい行動
よい行動 好きな行動	よくない行動 嫌いな行動	人や自分を 傷つける行動
今していい、増やしてほしい行動	今していい、減らしてほしい行動	どうしても許せない行動
<例> 呼ばれたら返事をする 「おはよう」と言う	<例> 文句を言う すねる	<例> 道路に飛び出す 叩く

### 行動を3つに分ける

好ましい行動	好ましくない行動	許しがたい行動
よい行動 好きな行動	よくない行動 嫌いな行動	人や自分を 傷つける行動
「ほめる」 =肯定的な注目を与える	「無視」 =注目を取り去り、 好ましい行動を待つ	制限を設ける 警告と罰(ペナルティ)



### 25%ルール

100%			
宿題をする			
25%	25%	25%	25%
「宿題や なきゃ」 と言う	宿題を出す	自分の名前 を書く	宿題を 始める
気づいて えらい!	宿題机に 出したね	ここ上手に 書いてるね	すぐ始める のいいね!

### 子どもの行動を理解する

①子どもの行動をよく見る  
 ②行動の理由・背景・気持ち理解しやすくなる  
 ③関わり方のポイント・コツがわかる → 関わりやすくなる  
 ④ほめやすくなる  
 ⑤大人と子どもそれぞれの自信につながる

### 自分自身のケア

子どもに関わる『自分』  
 保護者を支援する『自分』

そこには『自分』がいることも忘れずに

**職員も（自分自身で、職員同士で）  
 ケアしていきましょう！**